

# ふれあいの橋の会

REPORT よなご

訪問日 2026年 4月 2日 (木) 14:00~15:20

訪問先 介護老人福祉施設よなご幸朋苑・生活支援ハウスよなご幸朋苑

出席者 【委員】 田平 敏雄、福谷 武彦、名越 光義、三島 峰子

【よなごエリア】 戸田 悦子 (介護老人福祉施設よなご幸朋苑 介護課長)

榎野 利治 (よなごエリア統括次長)

豊田 慶子 (ケアハウスよなご幸朋苑 施設長)

本池 絵里子 (アザレアコートこうほうえん 相談員・係長)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

YONAGO Area Report



## ■よなごエリアの現況・事業概要

**開会（荒井監事）**：今日は、1993年4月に開設した「介護老人福祉施設よなご幸朋苑」と「生活支援ハウスよなご幸朋苑」を見学していただきます。よなごエリアの「ふれあいの橋の会」の年間スケジュールは、配布資料のとおりです。今月から連絡調整役を豊田施設長から本池係長にバトンタッチしていただきます。

**豊田施設長・本池係長**：引き続きよろしく申し上げます。

**荒井監事**：よなごエリアの現況と特養の概要を戸田課長から報告ください。

**戸田課長**：介護現場では現在、人手不足や業務の効率化、ケアの質向上を目指してICT（情報通信技術）の導入が急速に進んでいます。タブレットやスマートフォンを活用して、介護記録を入力・共有する仕組みもあります。ベッドには眠りスキャンを導入しており、離床状態、呼吸状態など利用者の変化を知ることができます。スタッフは、インカム（無線機）を装着し、音声でリアルタイムに連絡を取り合うことができます。これらのICT導入により、介護現場は、効率的で生産性の高い職場への転換が進められています。

**よなご特養**は、定員74名、ショートステイ10名を併設しています。平均年齢87歳で、年齢が高く、疾病を持つ人が入居されていますので、入居期間が短くなっています。ユニット職員は48名でご利用者の支援にあたっています、その内、10名がインドネシアとベトナムからの特定技能実習生です。夜勤も記録作成もできますので、大変助かっています。母国から離れた地で勤務されていますので、地域との交流を深めていただくため、グローバル人材の交流会を年4回開催しています。よなご特養は、開設から33年が経過していますので、施設内外に修理・修繕箇所が発生し、経費が必要になっています。

**名越委員**：他の施設でも眠りスキャンが導入されていました。こうほうえんの施設系の事業所では、どの程度普及していますか。

**戸田課長**：年次的に導入してきましたが、施設系の事業所ではほぼ導入し、活用されていると思います。

**田平委員**：人材不足は深刻な問題になっていますが、外国人に対する依存度は今後も高くなりますか。

**戸田課長**：少子化等も影響し、看護師や介護福祉士の養成学校が縮小傾向にあります。今後も外国の人材活用が進むと思います。

**名越委員**：特定技能実習生の宿舎は、どうされていますか。

**戸田課長**：民間アパートを法人が賃貸契約し、実習生に貸し出す方式を採っています。

②



**榎野次長**：生活支援ハウスは、米子市が入退居の決定権を持っています。60歳以上の米子市民で、独立して生活することに不安がある人が入居できます。定員20名で、現在は18名（男性5名、女性13名）が入居されています。利用者負担金は、配布資料のとおり、収入に応じて利用料金が設定されています。光熱水費や給食費は、実費を負担していただきます。自炊されている人は4名、食事の提供希望者14名。入居者の交流を深めるため、そうめん流しやクリスマス会など 季節に応じた行事を用意しています。

**田平委員**：収入額に応じて減額制度設けていると記載されていますが、具体的にはどういうことですか。

**榎野次長**：収入が年120万円以下の方は、利用者負担金は0円です。給食費の減額制度もあります。市では、生活支援ハウスは、住居に困っている人が一時的に住む場所と位置付けています。

**名越委員**：居室内の掃除は、どうしていますか。

**榎野次長**：基本的には自分ですることになりますが、ホームヘルパーを利用される人もあります。

**田平委員**：プライバシーが保護されていると思いますが、外出時はどうしていますか。

**榎野次長**：7:00～19:00は、職員が常駐していますので、外出する際は報告をお願いしています。

**福谷委員**：夫婦で入居されているケースはありますか。

**榎野次長**：以前には、夫婦で入居されたことがありますが、現在はありません。

③



## ■施設内外の点検・提言

**荒井監事**：配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

**福谷委員**：開設して33年が経過していますが、掃除が行き届いており、気になる箇所は見当たりませんでした。施設内外の経年劣化が進むと思いますが、計画的に維持管理をされ、状態を保つ工夫が必要になると思います。

**田平委員**：3人の特定技能実習生と出会いましたが、いずれも礼儀正しく挨拶ができ、私たち日本人よりきちんとしているのではと思ったほどです。真面目な人たちで、入居者からの評判もいいでしょうね。

**名越委員**：入居者と話をしましたが、「今朝から何も食べてないんです」と何度も話される人がいらっしゃいました。職員の皆さんの苦勞の一端を知ることができました。

**戸田課長**：入居者の皆さんは、様々です。職員は、入居者の状態に即応したケアに努めています。

**三島委員**：施設内には、季節を意識した掲示物が多く、和やかな雰囲気良かったです。

**名越委員**：玄関、廊下、洗面所・・・どこにも鉢植えなど、緑が配置されており、感心しました。

**三島委員**：近く、花見に連れて行ってもらえると楽しみにされている入居者がおられました。

**戸田課長**：施設周辺には、桜の木が多く、日々花見ができる環境でもあります。

**福谷委員**：特養も生活支援ハウスも、職員の皆さんが入居者に優しく接しておられました。引き続き、入居者に寄り添ったケアをお願いします。

**荒井監事**：今回は、5月7日（木）14：00～デイハウスよねはら、デイサービスセンター暖だん倶楽部です。

④

